

シンポジウム 2013 が盛会裏に終了しました

2013年9月7日(土) 14:00~17:30 拓殖大学文京キャンパス国際教育会館にて、日本マクロエンジニアリング学会シンポジウム 2013 が開催され、盛会裏に終了いたしました。シンポジウム 2013 は「復興の現場と日本のグランドデザイン」をテーマとし実施されました。ポスターセッションでは3件の発表があり、アンケートによる投票の結果、東北大学の齋藤優子さんによる「小型廃棄物の処理—新潟市の事例」発表が優秀ポスター賞に選定された。最後の総合討論では活発な意見交換が行われました。

文責: 茂木 創(日本マクロエンジニアリング学会理事長)



ポスターセッションで発表する齋藤優子会員



ポスターセッションで発表する拓殖大学ボランティアチーム(TVT)の渡辺将平氏

講演 1

1. 東日本大震災における岩手県を事例とした「参加型復興(開発)の手法と理念」その3
新田 義修(岩手県立大学 総合政策学部 准教授)
2. 茨城県での有機農業を踏まえた福島県二本松市での有機農業支援について
魚住 道郎(NPO 法人日本有機農業研究会副理事長)

講演 2

3. 復興教育支援事業の意義と今後の課題について
劉 庭秀(当学会理事、東北大学)
齋藤優子(東北大学大学院生)
4. 「日本のグランドデザイン」
新田 義孝(四日市大学 教授)